

# チャレンジデー2017 概要

～ワールドチャレンジデー2017 に初参加します～

## チャレンジデーとは

毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。

人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率（％）」を競い合います。対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗を庁舎のメインポールに1週間掲揚（国内戦のみ）し、相手の健闘を称えるというユニークなルールが特徴です。狛江市は平成27年度の初参加から引き続き3回目の参加をし、今年度は新たに「ワールドチャレンジデー」にも挑戦し、海外の自治体とも対戦します。

※日本での開催・運営は、笹川スポーツ財団が実施。

笹川財団 HP <http://www.ssf.or.jp/about/tabid/438/Default.aspx>

## 事業実施目的

世界規模で実施される「チャレンジデー」への参加を通して、地域住民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯にわたる健康及び体力づくりを推進するための機会を提供するとともに、地区住民相互の交流と親睦を深めること、地域の活性化を強め、健康で明るい街づくりを目的として実施します。

実施日時 平成29年5月31日（水）午前0時から午後9時まで

参加対象 全市民及び当日市内滞在者（年齢・性別問わず）  
※市民以外に在勤者・在学者・観光客等も対象

実施種目 15分以上継続した運動やスポーツなど

実施場所 市内全域（自宅・学校・職場・公園など）

実施イベント 市内体育施設等にて開会セレモニーや個人開放等を実施

報告方法 15分以上の身体活動をした人が、電話・メール・FAX等により狛江市役所内に設置された集計センターへ自己申告

主催 狛江市チャレンジデー実行委員会・狛江市・狛江市教育委員会

**対戦相手** 国内大会 山口県山口市（5回目、人口196,982人）  
 世界大会 ハンガリー セーケシュフェヘルヴァール  
 （人口98,553人）  
 ※狛江市（3回目、人口80,814人）

**過年度結果**

実施年度	対戦	勝敗	人口	参加者数	参加率
平成28年度 2016年	狛江市	勝利 参加率アップ賞受賞	80,062	41,028	51.2%
	山形県米沢市	敗北	83,804	21,412	25.6%
平成27年度 2015年	狛江市	敗北	79,027	14,499	18.3%
	大阪府柏原市	勝利	72,062	49,138	68.2%

**当日のイベント**

- ・開会セレモニー
- ・舞の海秀平氏講演会及び軽体操
- ・市民ひろばにて狛江市スポーツ推進委員が運営する青空ボッチャ
- ・各種目の個人開放
- ・防災センターにて軽体操教室

**エール交換**

5月22日（月）に対戦相手と健闘を誓いあうエール交換を狛江市長・山口市長とで行いました。

**参考データ**

大会	参加自治体
国内大会	128自治体（63市1区51町13村） 都内：狛江市（3回目）、昭島市（6回目）、江戸川区（初）
世界大会	21か国（46自治体） 日本：4自治体 （徳島県鳴門市、大分県豊後大野市、山梨県甲斐市、狛江市）